



9月～10月

「友の会活動拡大強化月間」で1404人とつながり、新しい仲間が103人増えました。



	目標	月間累計	到達率
つながり総数	2,000	1,518	76%
友の会員拡大	169	103	61%
いつでも元気拡大	40	14	35%

また仲間づくりでは、友の会員の繋がりを通じて入会者があつたこと、札幌病院と歯科・ひまわり薬局・在宅事業所職員の奮闘で、新しく友の会に103人の入会がありました。
(その他の取り組みの到達は別表をご覧ください)



▲コロナ禍で人と会えない日々が続く中、良く晴れㄌ
一日に久しぶりに集まって河川敷を歩いた【歩こう
会】での、皆さんのはな顔が印象的な『月間』でした。

2か月の間に電話や訪問で「なかた友の会員さんは1404人。ほとんどの方は「元気ですよ」「特に困ったことはありませんよ」と答えてくれましたが、中には「歳をとつて生活に不安を感じる。話を聞いて欲しい」と後日事務所を訪れる方もいました。



新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が出される中、日常的におこなわれていた取り組みや行事を開催することなどが出来ず、大変苦労をした間でした。

そういう中、世話人を先頭に友の会ニュースを手配りしている会員の皆様へ電話をかけ、コロナ禍でも元気にはされているか、困っている事は無いかと声をかけてきました。又、職員はニュースを郵送している、ちょっと遠いところに住む会員の皆様へ電話をかけました。

9月・10月の2か月間取り組まれた「友の会活動拡大強化月間」が終了しました。

『ヨロナ』に負けない元気な友の会活動

「友の会活動拡大強化月間」 終了しました

コロナ禍で不安が渦巻く地域の中に、友の会活動を知らせ、広げつながろう！



皆さん、最近メディアでよく耳にする『ジェンダー』や『LGBTQ』などをご存知でしょうか？札幌病院副院長の長島香医師（産婦人科医）は、『性教育』を通じて人権について考える出前講座活動をライフワークとしています。10/15（金）病院勤務終業後に、市内にある道立高等学校定時制の生徒さん35人へ向け、出前講座をおこないました。



思春期世代に話したい性教育 市内道立高校（定時制）

勤医協札幌病院
副院長
産婦人科
長島 香 医師
ながしま かおり

22年前に産婦人科医となった時からポツポツと性教育授業を自分流に組み立て、続けてきました。最初は小学校3、4年生に思春期のからだの変化、妊娠、出産の仕組みを大きな紙パネルを作って話しました。性交のパネルも机で一生懸命作りました。あの頃は若かったなあ。授業では「こんなふうにお父さんの精子はお母さんの子宮の中に入ります。たくさんの精子の中から一番スピードの早かった精子が卵子と出会います、それでできた命の始まりがみんな一人一人だね」と話したことを懐かしく思い出します。私の長女はここのくだりが一番好きだったと大きくなってから話していました。口マンチックに命の誕生を話していたと思います。しかし産婦人科の仕事をしていると望まない妊娠をして中絶を繰り返す、中絶時期を過ぎて産まさるを得ない状況になり出産する人。中高校生だと休学から退学になるなど女性だけが人生の選択を狭められているという事実をみます。この背景にはDV（親密な2人の間に起きる暴力）があります。女性には被害者になっているという意識はありませんがパートナーとは上下の関係になっています。このカップル間の子ども達は児童虐待を受けるリスクが高くなります。そこで私が性教育で最も大切と考えているのはDV予防です。DV予防のキーワードは2人の関係が対等と尊重であることを保つことです。これはどんな人間関係でも役立つ暴力予防のマスターキーです。対等は上下関係にならないこと、尊重は一人一人が違う人間であるということを重んじることです。言葉だけではわかりづらいのでシナリオを作り学校の教員に2人の関係のロールプレイをしてもらいます。DV関係は嫌だなあと子ども達が感じて知識を持つ、対等・尊重が普通のこととなれば避妊や性行為感染症予防は容易だと思います。授業では性的同意とはどういうことか、性自認・性的指向は多様であることなども話しています。



行事中止のお知らせ…

例年1月に開催しております「**友の会合同新年会**」につきまして、新型コロナウイルス感染予防の観点から、昨年に引き続き、2021年度も中止する事が決定いたしました。毎年多くのみなさまに楽しみにしていただいている行事であり、誠に残念ではありますが、何卒ご了承ください。

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2021 12月号 380円

30周年特別号

読者をつないで 30年

けんこう教室 帯状疱疹

うちでも元気 体操&脳トレ

映画「終わりの見えない闘い」

まちのチカラ 鳥取県湯梨浜町

食と健康 健康的にダイエット

発行＝株式会社保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657



利用者さんの笑顔が見たい！

菊水在宅
総合センター

初雪が例年よりも遅いですが、朝晩の冷え込みで布団から出るのが嫌になる季節ですね。

そんな寒さも吹き飛ぶように、当事業所ケアプランセンターあゆみでは、一度電話が鳴り始めると約束をしているかのように他の電話も一斉に鳴り始め「転んでしまった、家族が急病、サービスの変更の相談がしたい」等、利用者様や事業所様より連絡が入ります。

12名の職員が、それぞれの対応の為【東へ南へ】と奔走し「連絡をして良かった、これで安心して過ごせる」と利用者さんに思って頂けるよう、日々奮闘しています。

対応から戻った職員は、その日の出来事をあちこちで報告し、何かもっといい方法があるか…こういった場合はどうしたら良いか…など、ケアマネジャーの経験年数だけでは解決できない事も多く、皆が真剣に話し合い一日があつという間に過ぎていく毎日です。

残念ながら家族間のトラブルで行政介入が必要な事例もあり、現在もひまわり薬局や勤医協札幌病院からの強力なご支援を頂き、良い方向へ向かうよう協力し対応中です。

一人ひとりの人生の一部分に携わらせて頂き、会えて良かった、話せて良かったと感じて頂ける瞬間をお届けしたいと思い、今年も残り少ないですが、職員・センター・コロナ予防に努め頑張ります！今後ともよろしくお願いします！

★介護に関するお問い合わせは… ☎ 011-820-7671
勤医協福祉会 ケアプランセンターあゆみ



求人情報

ヘルパーを募集しております！

最短2時間から最長7時間まで、勤務可能な時間帯で相談致します。

介護福祉士やホームヘルパーの資格を持っておられる方大歓迎です。

☎札幌病院 看護管理部：澤田（011-820-1239）

勤医協バス冬時刻のお知らせ

*2021年12月1日～2022年3月31日
*休診日（第4土、日曜、祝日）は全便運休。
*12月30日（木）～1月3日（月）は全便運休
*第1・第2・第3・第5土曜日は、第5便（中央病院発13時00分）が最終です。
*交通事情などにより遅れることがあります。

	中央病院	札幌病院
便	札幌病院	中央病院
1	8:00	8:40
2	9:30	10:10
3	10:10	10:50
4	11:10	11:50
5	13:00	13:40
6	14:15	14:55
7	14:55	15:35
8	16:45	17:25



たくさんのご協力

ありがとうございます
加齢による難聴への
補聴器購入に助成を求める署名



10/15、札幌市へ署名用紙を提出しました。全体で6,371筆というたくさんの署名が集まりました。（白石は1,200筆）9/1号の友の会ニュースの中でもご紹介し、署名用紙も皆様へお

送りました。郵送や病院受診時に持参するなどで、たくさんの方が協力して下さったおかげです。

来年2月の予算委員会に向け、さらに署名を集めて提出します。まだお手元にある方は、是非これからでも、（自分だけ1筆…で大丈夫です。）友の会または札幌病院へ届けて下さい。

友の会事務所で署名ご協力の声掛けをすると、「補聴器ってそんなに高いんですね！」と驚かれることが多いです。少しでも早い助成の実現に向けて、引き続きよろしくお願ひいたします。

*各行事・サークル等への申込み・お問い合わせは
友の会事務局へ ☎ 820-1263
（必ずお申込みください）

その他のサークルなどは、すべてお休みの予定です。
各所開催を調整中です。
友の会事務所へ、お問い合わせください。

◆みんなの食堂★きらり（お弁当配布です）
12月18日（土）16:00～ 菊水ビルみずほ食堂
＊参加希望の方は、必ずお申込みください

居場所について・・・



★サークル活動など★
12月の友の会行事について



飲食をともなう開催は自粛します。お弁当の配布のみ。これまでの参加者に開催のお知らせをします。

みずほ食堂